

## JECC ITサービス紹介

JECCの提供するITサービスより、「ファイルサーバSaaS」「IT資産管理サービス」の2つを紹介します。

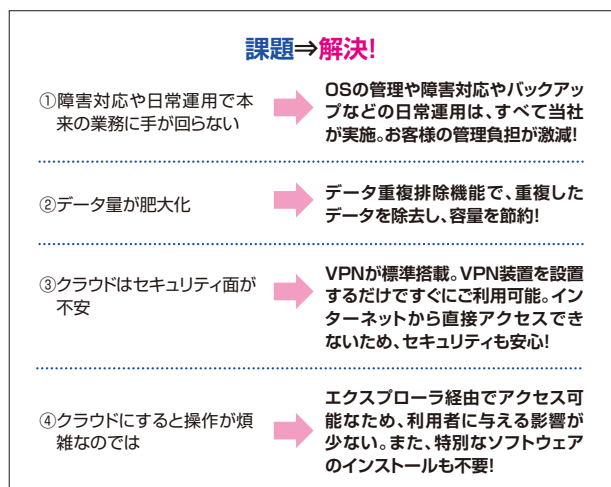
### ITサービス① ファイルサーバSaaS

#### ファイルサーバの課題を 解決する新しいサービス

この度JECCでは、インフラの管理が不要で「簡単」「大容量」のSaaS型ファイルサーバサービス「ファイルサーバSaaS」をリリースしました。自社でファイルサーバを運用されているお客様は、それぞれ悩みを抱えています。「障害対応や日常運用で本来の業務に手が回らない」「データ量が肥大化してディスクが逼迫状態」「クラウドはセキュリティ面が不安」「クラウドにすると操作が煩雑なのは」……。「ファイルサーバSaaS」は、そんなお客様の課題を払拭する新しいサービスです。

「ファイルサーバSaaS」の主な特長は四つ（図1）。一つ目は、お客様は共有フォルダの管理のみ。障害対応やバックアップなどの日常運用は、すべて当社が実施。お客様の管理負担を激減させます。

（図1）ファイルサーバの課題を解決



（図2）ファイルサーバSaaSの標準サービス

ドメイン参加 (Active Directory)	データ重複排除	フォルダ容量制限	データバックアップ	セキュリティパッチ対応
ウイルス対策ソフト	VPN装置2台 (予備機付) ※1	閉域網引込対応	サービス稼働監視	ディスク残容量監視

※1 VPN接続モデルを選択した場合のみ

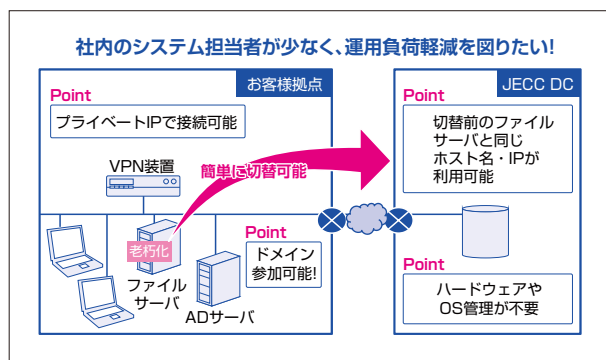
二つ目は、データ重複排除機能の標準搭載。この機能により、重複するデータは自動的に圧縮されるため、データの逼迫を防ぐことができます。三つ目は、VPNの標準搭載。お客様拠点と当社DC間をセキュアなVPNで接続します。お客様拠点にVPN装置を設置するだけで、すぐにご利用いただけます。四つ目は、エクスプローラ経由でのアクセス。オンプレミスのファイルサーバと同様の操作感覚でご利用いただけるため、利用者への教育や周知が不要です。

このほかにも、ActiveDirectoryとの連携、ウイルス対策ソフト、スナップショット（データのバックアップ）等、さまざまな機能を、すべて標準サービスとしてご提供しています（図2）。

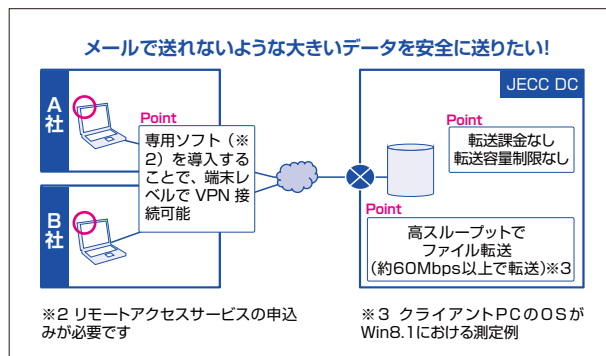
「ファイルサーバSaaS」は、100GBモデルから10TBモデルまで、月額6万円台からご提供可能。

社内のシステム担当者が少ないため運用負荷軽減を図りたい（図3）、数社間で、大容量のデータ送受信を安全に行いたい（図4）等、さまざまなビジネスシーンにも対応します。

（図3）ご利用シーン1



（図4）ご利用シーン2



※2 リモートアクセスサービスの申込みが必要です

※3 クライアントPCのOSがWin8.1における測定例

## ITサービス② IT資産管理サービス

### 簡単・安心運用の IT資産管理サービス

ネットワークにつながっているパソコンやサーバ、ネットワーク機器、ソフトウェア等の情報機器を管理する「IT資産管理」。昨今、企業等におけるセキュリティニーズやコンプライアンスの観点から、このIT資産管理に対する関心が高まっています。

このような状況の中、この度JECCがリリースするIT資産管理サービスは、IT資産の適切な管理を効率的に行えるSaaSサービスです。SaaS型のため初期投資の負担が少なく、サーバの導入や管理も不要で、システムの管理負担を軽減できます。

IT資産管理サービスには、「IT資産の見える化」「セキュアな環境の構築」「社内システムの稼働状況の把握」「メンテナンスの効率化」の特長があります（図5）。

「IT資産の見える化」では、ハードウェア情報、ソフトウェア情報、操作ログ等のクライアントパソコンの情報を自動収集し、台帳として一元管理できます。この機能により、社内にある最新の情報資産を正確に把握でき

ようになります。例えば、ソフトウェアのバージョンごとの利用数やMicrosoft Officeのプロダクトキーごとのインストール数を把握することができます。

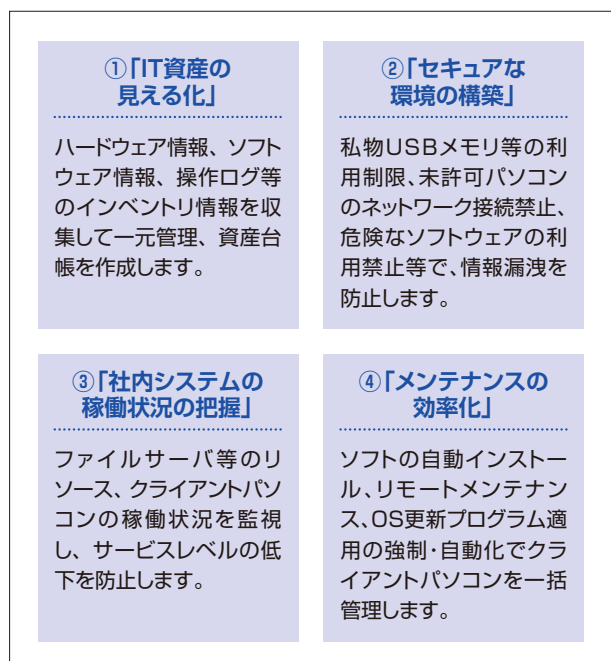
「セキュアな環境の構築」は、不適切な操作を制限でき、アラート通知で情報漏洩防止できる機能です。クライアントパソコンの24時間365日モニタリング、USBメモリの利用制限、未許可パソコンの接続検知や通信の遮断、危険なアプリの利用制限等が行えます。万が一、情報が漏洩したり、共有フォルダのファイルが行方不明になった場合には、「誰が」「いつ」「どこに」「移動（削除）」したかを追跡することができます。

「社内システムの稼働状況の把握」では、ファイルサーバやクライアントパソコンの障害や予兆を検出し、サービスレベルの低下を防止できます。

「メンテナンスの効率化」では、クライアントパソコンを、リモート操作やソフトウェアの自動配信などで一括管理できます。例えば、ソフトウェアのインストールやOSの最新バージョンへの更新を、Active DirectoryやWSUS（Windows Server Update Services）を用いずに自動化し、集中管理することができます。

IT資産管理サービスは、簡単に導入でき、スピーディかつ安心運用の、情報セキュリティ対策ワンストップソリューションです。

（図5）IT資産管理サービスの特長



「IT資産管理サービス」のイメージ

